

# 経営イノベーションアセスメントコースのご案内

全国企業品質賞委員会では、2020年度経営イノベーションアセスメントコースを日本海地区で開催致します。このコースは、3つの講座を通じて「価値ある組織と持続する経営を目指す」取組みとセルフアセスメントを行うための基本的な考え方、スキルを習得するためのコースです。研修の内容は、実践的な経営革新事例を組み込み、より理解し易いように作成してあります。現在、経営革新に取り組まれている企業や推進を計画している企業の皆様に、新たな気づきを得ると共に、スキルアップの為の良い機会と考えます。また、研修費用も企業の皆様の御負担にならないよう、安価にさせていただきました。自社の経営革新を早急に推進したいと希望される企業・組織の推進者の皆様のご参加をお待ち致します。

## ●ご参加対象者

経営革新推進に取り組まれている、経営者、管理者、中堅・若手社員どなたでもご参加いただけます。経営革新推進のスキル、ノウハウの習得と共に、次の認定審査員コース受講の前提条件となります。

## ●アセスメントコース概要（基本的に3コース通した研修となります）

※研修資料も3コース共通で使用致します、原則として3コース通して受講をお願い致します。

基礎講座Ⅰ (1日)	経営イノベーション推進の為に、組織の成熟度の考え方をもとに組織・事業の特性を理解すると共に、セルフアセスメントの基本、重要成功要因、合意形成等について学習を行う。
基礎講座Ⅱ (2日)	中小企業の事例を通して、組織プロフィールからその組織が持つ特性を正しく把握し「重要成功要因」「評価の視点」を導くスキルを習得すると共に、アセスメント基準の内容の理解を深める。
基礎講座Ⅲ (2日)	事例の評価を基にして、組織との効果的なコミュニケーションを図りながら、その組織の革新に結びつく診断・提言「強み」「改善」を行う実践力を養う。

## ●開催日程(予定)

日程

研修時間

- ① 基礎講座Ⅰ：令和2年11月の第2週の1日 (AM10:00～PM4:30)
- ② 基礎講座Ⅱ：令和2年11月の第4週の2日間 (AM10:00～PM4:30)
- ③ 基礎講座Ⅲ：令和2年12月の第2週の2日間 (AM10:00～PM4:30)

\* 研修開催日は参加企業のご都合を考慮して決定したいと思います。

## ●研修場所 〒955-0092 新潟県三条市須頃1丁目17番地の会議室を予定

全国企業品質賞委員会 事務局長 明道弘政 携帯電話：090-3318-1113

## ●指導講師及び研修資料

- ①指導講師：全国企業品質賞委員会 指定講師
- ②研修資料：研修委員会監修による資料・・・研修当日 配布致します。

## ●参加費用（講師料、終了証、昼食、会場費等を含む）

	基礎講座Ⅰ	基礎講座Ⅱ	基礎講座Ⅲ	合計
一般企業	40,000円	60,000円	80,000円	180,000円
経営イノベーション研究会員	30,000円	60,000円	60,000円	150,000円
経営革新審査支援機構会員(MIG)	25,000円	50,000円	50,000円	125,000円
全国企業品質賞受賞企業クラブ(GBEC)	25,000円	40,000円	40,000円	105,000円

\* ただし、上記参加費用と共に、研修教材として25,000円/人を別途ご負担いただきます。

## ●定員 15名（お早めに申込み下さい）

全国企業品質賞委員会 事務局長 明道 弘政

TEL:03-6822-0355/090-3318-1113/FAX:03-6822-0355/Mail:myodo@mig01.com

## 補足説明・・経営イノベーションアセスメントコース概要

### ●はじめに

全国の中堅・中小企業がアフターコロナの時代に生き残るために自社のおかれている業界内での位置づけやシェア及び競合他社動向を明確にすることで、今後の新常态（ニューノーマル）における革新の方向付けや改善の気づきを得るために経営革新推進のメソドロジーとして本コースが開発されました。

### ●基礎講座Ⅰ：令和2年11月第2週・・・・1日コース

#### 研修概要

基礎講座Ⅰは、アセスメントコースの最初の講座と位置づけられ、経営革新のための基礎知識として「CS向上とES向上について」事前学習を行っていただくと共に、経営環境の変化に迅速・柔軟に対応する「リーダーシップ」「企業存在価値と風土」「経営の戦略」「顧客の視点」「組織力と人間力」「プロセスの变革」「情報の共有化」の重要性について気づいていただきます。

講座の内容として、現状の経営環境と成功企業事例および企業・組織の事業概要から企業の特徴を理解いただくと共に、自社の事業概要を明確にするスキルを習得していただきます。講座を通じて自社の経営革新のヒントを得ることができると共に、ベストプラクティス企業として他企業の見本となり、ニューノーマルに生き残るための、最も優れた経営革新手法を習得するために、この講座が開発されました。

#### 研修目的・内容

基礎講座Ⅰは、経営革新を推進するための気づき、知識、スキルを習得するための最初のステップであり、経営革新の基礎知識と経営環境およびケース事例から企業概要（組織プロフィール）の重要性について理解していただきます。

また、グローバルスタンダードとして世界60数ヶ国の国家賞の基本として使用されている米国国家品質賞（MB賞：マルコム・ボルドリッジ賞）のフレームワークを理解し、活用いただくことで、日本の中堅・中小企業の経営革新推進者の皆さんに役立つように講座が構成されています。

当講座ではワークショップ方法で成功企業ケースの存在価値、理想の姿、推進体制、プロセスの改善や革新等について理解していただくことで、スキル向上とノウハウ習得を目的としています。

- 経営環境の現状と動向
- 経営革新のための企業品質向上
- 経営革新フレームワークの重要性
- 成功企業の事例から学ぶ
- 事業概要から自部門の再認識

### ●基礎講座Ⅱ：令和2年11月第4週・・・・2日間コース

#### 研修概要

基礎講座Ⅱはアセスメントの第2ステップの講座と位置づけられており、第1ステップの基礎講座Ⅰで学ばれた、企業の企業概要（組織プロフィール）の内容に基づいて、カテゴリ1.0の「リーダーシップと成果」、2.0の「戦略経営と成果」、3.0の「顧客価値創造と成果」の分析・診断の着眼点を理解していただきます。

またワークショップを通してエクセレント・カンパニーの経営環境と優れた仕組みについて理解していただくと共に、「強み」「弱み」を明確にすることでアセスメントの重要性に気づいていただきます。

## 研修目的・内容

今回の経営イノベーションアセスメントコース基礎講座Ⅱは経営革新の第2ステップとして位置づけられています。経営における重要な視点である「リーダーシップ」「戦略の立案・展開」「顧客と市場の理解」について成功事例を通して学んで頂くことで、自社の経営革新向上の推進に役立つスキルとノウハウを習得していただきます。

- 経営イノベーションアセスメント基準書 v1.1
- 企業概要から重要成功要因と特徴
- リーダーシップの重要性
- 戦略経営の重要性
- 顧客価値創造の重要性
- ケース事例から学び自部門の再認識

## ●基礎講座Ⅲ：令和2年12月第2週：・・・2日間コース

### 研修概要

基礎講座Ⅲは、アセスメントの第3ステップの講座として位置づけられております。

第1ステップの基礎講座Ⅰで学ばれた企業概要（組織プロフィール）の内容と、第2ステップの基礎講座Ⅱで学ばれた、カテゴリ1.0の「リーダーシップと成果」、2.0の「戦略経営と成果」、3.0の「顧客価値創造と成果」に基づいて、基礎講座Ⅲでは、カテゴリ4.0の「人材育成と成果」、5.0の「プロセス経営と成果」、6.0の「情報活用と成果」の視点からアセスメントポイントを理解していただきます。

また、ワークショップを通してエクセレント・カンパニーの経営環境と優れた仕組みについて理解して頂くと共に、「強み」「弱み」を明確にすることでアセスメントの重要性に気づいていただきます。

### 研修目的・内容

今回の経営イノベーションアセスメントコース基礎講座Ⅲは経営革新の第3ステップとして位置づけられております。経営における重要な視点である「4.0 人材育成と成果」「5.0 プロセス経営と成果」「6.0 情報活用と成果」について成功事例を通して学んでいただくことで、自社の経営革新推進に役立つスキルとノウハウを習得していただきます。

- 経営革新アセスメント基準書 v1.1
- 企業概要から重要成功要因とその特徴
- 人材育成の重要性
- プロセス経営の重要性
- 情報活用の重要性
- ケース事例からの学びと自部門の再認識

# 2020年度 第1回 経営イノベーションアセスメントコース申込書

- 【お申込の方法】 ●下記に必要事項をご記入の上、FAX又は郵送してください。  
●2名以上のお申込みの場合は、恐縮ですがコピーしてお使い下さい。

【お問い合わせ先】〒108-0014 東京都港区芝 4-16-1-W2602  
全国企業品質賞委員会 事務局長 明道弘政  
(事務局 携帯電話：090-3318-1113)

**FAX : 03—6822—0355**

- 【申込締切】 2020年10月28日(水)まで  
本コースは事前課題がありますので、お早めのお申込をお薦めいたします。  
お申込みの確認後、請求書・事前学習資料をお送りいたします。

申込日： 年 月 日

組織名			
所在地	(〒 — )		
TEL		FAX	
<input type="checkbox"/> MIG/GBEA 会員 <input type="checkbox"/> 研究会員 <input type="checkbox"/> 一般   (該当するものに○)			

◆申込みご担当者氏名 (フリガナ)	所 属・役 職

●参加者氏名 (フリガナ)	所 属・役 職
	Eメール：

## お申込み講座

	開 催 日	お申込み該当○	過去の受講回数・他
基礎 1	2020年11月第2週		
基礎 2	2020年11月第4週		
基礎 3	2020年12月第2週		